

新刊本  
プレゼント

# 読者アンケート

「Book Review」欄でご紹介した書籍のうち、プレゼントマークのついた書籍を、3名様にプレゼントいたします。ご応募される方は、下のアンケートにご回答いただき、貴社名、部署名、氏名、住所を明記のうえ、FAXまたはeメールにてご応募ください。

※ 応募者多数の場合は抽選とし、抽選結果発表は書籍の発送をもって代えさせていただきます。

●興味を持ってお読みいただいた記事のすべてにチェックをしてください。

<特集 東北復興と企業人の学び>

◇特集について とてもよかった よかった ふつう よくなかった 関心がないテーマだった

①  座談会

③  事例 凸版印刷

②  事例 ロート製薬

④  事例 富国生命保険

・ご意見、ご感想をお書きください。

<特別寄稿>

⑤  ダイバーシティ・マネジメントと上司の成長 小山健太

<事例レポート>

⑥  日立製作所

<特別企画>

⑦  人材開発担当者のための(学びと成長の)映画ガイド 教来石小織

<調査資料>

⑧  日本経営協会「ビジネス・コミュニケーション白書2018」

<連載>

⑨  世界の人事はこうなっている

⑭  教育コンサルタントの自画像 [石原徹哉]

⑩  lonlに関する上司の6つの勘違い

⑮  教育スタッフの「仕事」日誌

⑪  EAPの現場から学ぶ 職場改革のヒント

⑯  溝上憲文のケンブン録 それってどうなの?!

⑫  ちょうどいいコンプライアンス教育

⑰  Book Review

⑬  女性社員のキャリア形成と育成

●取り上げてほしいテーマ、人、貴社の課題、「企業と人材」へのご意見などがありましたらお書きください。

---

---

●今月のプレゼント本  
伝わるしくみ



会社名

部署名

氏名

( ) 歳

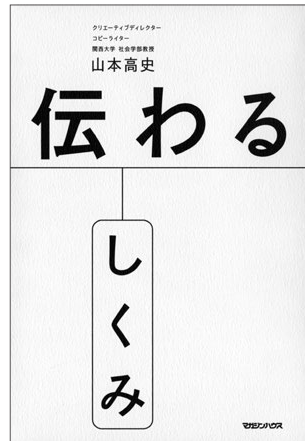
電話番号

住所 〒

FAX番号： ☎ 0120-703-641 e-mail： edt-e@sanro.co.jp

応募締切： 2018年12月28日(金)

プレゼント



山本高史著  
マガジンハウス  
2018年9月27日発行  
1,300円+税

## 伝わるしくみ

伝えるとはどういうことか、そのためには何をどのようによすればいいのか。そのプロセスを本書は説明する。たとえば、「相手が言って欲しいことが何かを推定するには、脳内にデータベースが必要で、その蓄積には経験が必要」、「データベースが充実すれば発想の質と量がアップする。上手に伝えるためには受け手と同じ共有エリアに立つ必要があるが、発想が貧弱だとそれが出来ない——」といった解説を経て、さまざまなケースを示しながら、「伝える」ということを学べる構成になっている。

だが、一番衝撃的なのは冒頭だろう。「コミュニケーションはそもそも難しいのだ」、「難しくて面倒で厄介だ、というところから始めましょう」。なるほどと、この時点で納得してしまった。